

神戸百店会だより



NEWS

★カントリー・クリスマス
へのお誘い

丸善神戸元町店
元町店2階で、手作りの
クリスマスグッズを集めた
「カントリー・クリスマスへ
のお誘い Part III」が開催され
ます。会期は12月4日(木)
から9日(火)までの6日間
で、開催時間は午前10時か
ら午後7時(最終日は午後5
時閉館)。一部の作品は展示
即売されます。

■お問い合わせ

丸善神戸元町店

神戸市中央区元町通1・4・12

☎078・391・6003



クリスマスグッズの数々

NEWS

★クリスマスセール

木下真珠



木下真珠パールサロン神戸(北野坂)

12月1日(月)から25日
(木)まで、北野坂にある
木下真珠でクリスマスセ
ールを実施中。時間は午
前10時から午後6時まで。
高級感あふれるパールが、
お求めやすい価格になる
のは、女性にとってはう
れしい話。ルミナリエに
あせて、お店の前にはク
リスマスツリーも登場し
ます。

■お問い合わせ

木下真珠パールサロン神戸

神戸市中央区山本通1・7・7

☎078・221・3170

TOPICS

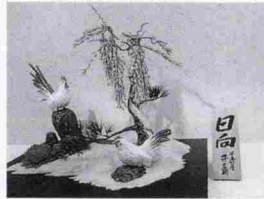
★第二回神戸和菓子展

10月23日から29日まで、神
戸大丸店8階催会場場で「第2
回神戸和菓子展」が開催され
ました。主催は神戸市生菓子
協会。

有名和菓子店64店舗が一堂
に集い、伝統的なものから神
戸らしく新しい感覚のものま
で、和の世界が華やかに繰り
広げられ、繊細で美しい日本
の文化を思う存分堪能した。
神戸百店会からも神戸風
月堂、本高砂屋が出演。作り
たての美味しさをそのまま販
売する「実演販売コーナー」
は大人気でした。



シンプルにデザインされた
夢風船(神戸風月堂)



二ワトリは人間技とは思えない
日向(本高砂屋)

TOPICS

★ドンクの1997

クリスマスコレクション
ドンクでは今年も夢いっぱい
のクリスマスケーキ・コレ
クションが始まります。期
間中(12月1日~15日)に予
約をして豪華なプレゼント
をもらいましょう。



まきの木を形どったフラ
ンスの伝統的なプッシ
ュ・ド・ノエル¥2,300

フレッシュな生クリームに
大粒のいちごが華やかな
オートケーキ¥3,000~

プレゼント

締切日97年12月15日(当日消印有効)
サンタの絵柄が可愛い特製マ
グカップ(輸入チョコレート入
り)をプレゼントします。

応募方法/抽選で20名の方にマグ
カップをプレゼント。ただどん
ク三宮本店まで取りに来られる方
(のみ)住所、氏名、年齢を書いて
往復ハガキでお申込みください。

■宛て先

神戸市中央区下山手

通3・1・18ツイン

ズアビル4日刊

神戸子

デスクプレゼント係



NEWS

★クイズに答えて素敵な商品を当てよう

神戸風月堂

ゴルフでおなじみの神戸風月堂が、明治30年1897年12月12日の創業から今年で100周年を迎えることになりました。今、クイズにお答えて、正解された方の中から抽選で、すてきな商品をプレゼントしていきます。どしどし応募ください。

賞金

A賞 ホテルゴーフリッツ

宿泊券 ペア50組100名様

B賞 神戸風景画 20000名様

応募方法

ハガキにクイズの答えと、郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号をご記入のうえ左記ご応募ください。

応募先

〒650神戸市中央区元町通3・3・

10 株式会社神戸風月堂「創業

100周年クイズ」係

応募受付期間

97年12月12日(当日消印有効)

当選発表

賞品の発送をもって代えさせていただきます。

問題

〇〇〇の中にあてはまる数字をお書きください

神戸風月堂は今年12月12日で創業〇〇〇〇年を迎えます。

★有島武郎と「失楽園」

ホテルゴーフリッツ

74年前の有島の情死と現代の「失楽園」の情死とはどう違うのか。12月14日、ホテルゴーフリッツ5階「カステイリアの間」で、神戸大学教授西垣勤さんを迎えその謎にせまります。時間は午後2時30分から午後4時まで。参加費は2500円。

有島武郎は1923年、人妻の波多野秋子と軽井沢で情死しました。いま、渡辺淳一の「失楽園」がブームを呼んでいます。それと同じことを有島は今から74年前に実行しました。彼が意図したものは何だった



ホテルゴーフリッツ
なるホテルゴーフ
会場となるホテル
会場とホテル

のか。そして、平成の情死オマージュ「失楽園」の意図したものは何だったのか。その両者の深層心理を解明します。

■ホテルゴーフリッツ

神戸市中央区港島中町6・101

トライナー「市民広場駅」北

☎078・303・5555

NEW FACE

★ハイセンスなコート、バッグがいっぱい

ラピスジェイ

今年8月末に加納町交差点のすぐ東にオープン。「美しい存在感」をテーマに、おし



ふんわりボリューム感のあるビーバーの毛皮

やれな毛皮やバッグなどの逸品がそろっています。12月12日(金)から25日(木)までは、ルミノリエコートフェアを実施しています。ビーバー、ミンクをはじめハイセンスなコート、イタリア製のオリジナルバックは見てのただけで時間を忘れてしまいそう。

只今、ご入会された方に、カード対象商品の20%オフ、イタリア製オリジナルキーホルダーがプレゼントされる「JCLUBカード」の会員を募集中です。

■お問い合わせ

ラピスジェイ

神戸市中央区二宮町4・21・3

☎078・222・4068

営業時間 11時~18時 木曜休

TOPICS

★サラリーマンの人気メニュー幕の内弁当

本成駒屋

昭和12年にオープンして以来、お寿司屋さんとして人気を博してきました。創業当時兵庫にあったところに、初代鷹次郎の歌舞伎に感動して、屋号「成駒屋」と名付けたとか。

ここの名物メニューは幕の内弁当。三代目の浜野昌彦さんは、「一日、100ほどの幕の内弁当をつくり、売り切れたら閉店です」と。その言葉どおり、午前11時30分の開店と同時に、スーツ姿のサラリーマンでいっぱい。お刺身、出し巻、エビフライ、鳥、高野豆腐、大根、竹の子と盛りだくさんの具にびっくりります。このおいしさを一度お試しください。

■お問い合わせ

本成駒屋

神戸市中央区三宮町2・10・7

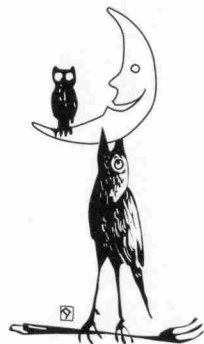
☎078・331・3236

営業時間 11時30分



幕の内弁当 (800円)

ぴっと・いん



★超穴場カフェを「紹介

「AZUMA」(アズマ)

アメリカのグラフィック誌「LIFE」(ライフ)を見ることができるところがあると聞いて、喫茶店「AZUMA」を訪ねてみた。薄暗い事務所のような場所であり、少し不安げに中に入ると、噂どおり壁面にライフの有名女優や政治家などの表紙が並んでいた。マスターの東有治さんによると「展示してあるのは一番アメリカ文化がわかりやすい50年代の『ライフ』なのだそう。目を別の壁面に移すとファッション誌で有名な20年代の『VOGUE』『BAZAR』



表紙を見ているだけで何時間も居てしまう

見ているだけで楽しい。

今年はじめにオープン。5月頃から口コミの客が増えてきたそう。店内にはジャズやオペラが流れ、ゆっくりと時間を過ごせる店だ。コーヒー、紅茶は400円から、特に紅茶は神戸では取り扱っていないところが少ないという「ムジカ」を使っている。

■AZUMA (アズマ)

神戸市中央区元町通4・3・132F
078・371・4411
営業時間12時〜21時 木曜定休 祝

除く)

★他にはないおいしさ

「ポテトのアトリエ」

ポテト菓子チェインの「ポテトのアトリエ」が9月20日、南京町店をオープンした。ポテト菓子というと、一つ二つはおいしいけれど、くどくてたくさんは食べられない。でもこの「チャイニーズ・スウィート」はちよっと違う。



食べだしたらとまらない

★「たっぷり」パスタが自慢の店

花時計の山側、オフィス街で10年のキャリアを持つ「アロマ」。パスタ中心の店づくりは震災以後で、それ以前はお茶を楽しむ店だった。パスタのお店を開いたのはご主人・鷲尾仁敏さんが大のパスタ好きだったから。よって、大のパスタ好きが集まり、毎日同じパスタを飽きもせず(?)食べていく常連さんがいるほどだ。

通常の量が一人前、100前後なのに、このお店では120g。大盛りになると170gになる。その大盛りを女性でもペロリと平らげてしまうのは、あっさりとした上品な味付けのせい。人気はピリリと唐辛子のきいたアラビアータとロースト・ビーフがそのまのつた、その名もロースト・ビーフ(いずれも700円)。



料理に添えられるイタリアンパズルは鷲尾さんの手作り

店頭販売のみでSサイズが280円、Mサイズ400円、Lサイズ600円。棒状のチャイニーズスティックは450円。店頭で出来たてのおいしさをほおばれば、やみつきになることまちがいなし。

■「ポテトのアトリエ」神戸・南京町店
神戸市中央区栄町通2・8・1
078・331・3385
営業時間10時30分〜19時 年中無休

タ(1/2の量)、サラダ、アイスクリーム、ソフトドリンクにケーキがつくれディースェット1000円が楽しめる。

■アロマ

神戸市中央区加納町6・6・2

☎078・3332・3333

営業時間7時~20時(土曜18時)

日・祭日休

★身体にやさしい

無添加ケーキ

アサヒギョーリ前にオーブンとした真新しいビルの1F、広々としたエントランスが美しい「ぶーるどーる」はランチもいただけるカフェ。以前岡本でケーキ屋さんをしていたオーナーの小村和子さんが作り立てをその場で食べてもらおうと喫茶店にした。

地階の工房で作るケーキは、添加物を最少限に控え、保存料は一切使用していない。お持ち帰りのケーキ屋さんでは並べにくかったムースなど、柔らかに、繊細なケーキが多いのが特徴だ。



広い店内にわずか34席。ゆっくりとくつろげる

よく出るのはチーズタルトやガトーダムといったシンプルながら味のよくなるもの。ティータイムは女性で溢れているものと思っていれば、このお店は案外、「味のわかる」「甘克男性客の隠れた名店らしい。

ケーキは常時10種類程度で400~500円。ケーキセットにすると50円引きになる。

■ぶーるどーる

神戸市中央区三宮町2・2・1ラム

三宮ビル1階

☎078・3333・7556

営業時間11時~19時(ランチタイム

11時30分~14時)

★旧居留地にニューヨーク・フレンチ

ぶーるどーると同ビル2Fにオーブンした「クク」は、小鳥がさえずったような可愛らしいネーミングで若い女性客の心をくすぐる。美味しいものを美味しく、自分流に味わうアメリカンスタイルを採り入れ、フレンチ特有の堅苦しい雰囲気は全くない。

食材も限定せず、和洋折衷日々、美味しい組み合わせを模索している。ランチは3種、ビジネスランチからデザートまでつくスペシャルランチまで、その日の気分に合わせて選べる。



写真中央がシェフ・大森茂雄さん

ディナーは、前菜、魚料理

肉料理から各自好きな物を選んで、仲間と分け合うのがおススメ。アボガド梅肉わさび650円、スモークサーモンの千枚漬け巻き850円、ご

まステーキいろんな野菜添え2500円など、面白いだけでなく、栄養面でもバランスのとれたメニューが多い。どんな料理にも合うワインは、オーナー一押し「の赤・ロスバスコス(チリ)3800円。

■フレンチクク

神戸市中央区三宮町2・2・1ラム

三宮ビル2F

☎078・3333・1720

営業時間11時30分~14時30分 17時

~21時30分 水曜定休

★思い出さばいのお店

センター街でショッピングを楽しんだあと、喫茶店「G線三宮店」でひと息ついて、青春時代を過ごした読者も多いのでは。

大震災で、布引店と三宮店

はともに全壊。しかし今年の春、まずは布引店がオープン。西向きのオーブンウィンドから、公園の緑が飛び込んでくる。さらに大理石が敷き詰められたフロアー、すつきりとした店内のインテリアは、震災前同様、画家早川良雄さんのデザイン。

お店の2階はケーキ工場になっていて、フレッシュなオリジナルケーキを存分に味わえる。神戸伝統の味、G線サブレは贈り物にぴったり。

「パイオリンの最下部に位置する弦がG線。これ以上落ちることはないという意味を込めて店名にしました」と震災後ゼロからのスタートと梅崎夫佐子社長は笑う。

オールドファンのためにも、はやく三宮店も再開してもらいたい。

■G線

神戸市中央区神若通7・2・7

☎078・241・1101

営業時間10時~19時水曜定休



ポケット ジャーナル



★県文化賞に安藤忠雄氏ら

10月24日、さまざまな技能を生かして兵庫県内の地域社会に貢献した19人、2団体に兵庫県から文化、科学、スポーツ、社会各賞が贈られた。

文化賞には、建築家の安藤忠雄さんら6名と1団体、科学賞には「Spring 8」の誘致に貢献した阪大名誉教授の角戸正夫さんら7名、スポーツ賞には、今夏のユニバーシアード日本代表金メダリストの大西順子さんら4名、社会賞には社会福祉法人有岡協会理事長の脇忠子さんら2名と1団体が選ばれた。



安藤忠雄氏

表彰状およびブロンズ像の贈呈式は11月4日に県公館で行われた。

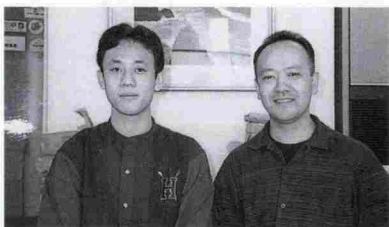
★関東の被災者を励まそう 横浜で支援コンサート

震災後、関東に身を寄せている被災者を励まそうと、神戸出身の指揮者・山本都夫さんの発案で、来年1月15日、横浜でコンサートを開催される。

演奏するのは、周辺の大学から選抜された学生、約40名による「ジュネス・ミュージカル・シンフォニーオーケストラ」。ロッシニやモーツァルトの名曲に加え、復興をイメージした新曲も予定されている。「コンサートは、散り散りに暮らしている被災者のコミュニティ・ニケーションを図ることが目的。また、大学生を中心とした若者が、この企画を通じて社会問題に対し、考え、行動することの意味を自らに問う

かけてくれればと思っていま
す」と主催者。

コンサート会場は横浜市内の
神奈川県立音楽堂(約10
00席)で、約300人の被



指揮者の山本都夫さん(右)と学生代表の雷田将史さん

災者を無料招待し、一般客の
入場料(前売2000円、当
日2500円)は、今後の被災
者支援活動費に充てられる
という。

□問い合わせ

東京YWC A神戸支援会

TEL03・3293・5421

★ゴダイゴ復活?

タケカワユキヒデにKOBE

ゴダイゴと聞いて、「威風堂々」「ガンダラー」…を懐かしく思い出す人もいるのでは?

12月に行われるタケカワユキヒデ氏のアコースティックコンサート、97「神月」では、

★誕生日ありがとう運動

町でみかけたY君
ある日、ホームでY君家族に
会いました。Y
君は電車が大好き
きてす。電車が
来るまでホーム
の先頭に立つて
大喜び。私は内
心、危ない危ない
の連続でした。
た。Y君は懐れたもの。電車が
来たらサッと白線内にもどりま
す。ホッと一安心。電車の中で
は窓を見ながら大声で話しかけて
きます。嬉しくてたまらない
のです。私は学園内のY君しか
知らなかったし、学園はまわりの
様子など関係なく生活できる
場所だから、ちよつとたじろい
でしまいました。まわりの乗客
がじろろ見るのです。暖かい
目なのか冷たい目なのか、私は
振り返ることもできません。お
母さんにはそんなことにはわか
りなくY君と接しています。妹
のAちゃんも少しはすかしそ
うにY君を制しています。



Y君は突然、Aちゃんの頭を
パンとたたきました。気持ちよ
くおしゃべりをしていただけに制
せられたから、腹を立てたので
しょう。Aちゃんはお母さんに
注意されました。グツと涙をこ
らえて(泣く)種さもこらえて
いたのでしょ(っ)つむくAち
ゃん。

(M)

誕生日ありがとう運動本部

〒650神戸市中央区橋通4・2・2

菊水模型ビル3F(湊川神社西

TEL・FAX078・36001259

ガンダーラ時代の名曲をジャズやクラシックのアレンジで演奏。プロデューサーを含めスタッフすべてがゴダイゴ・ミュージックの理解者であり、中にはその音楽を聴いてこの道志した人もいるそう。

神戸はゴダイゴ時代からタケカワ氏が大切にしてきた場所。今回のコンサートでは81年の神戸博覧会のテーマソングとなった楽曲「ポトピア」も用意されている。



タケカワユキヒデさん

□アコースティックコンサート 97

「神月」〜新創世紀より
日程：12月27日（土）19時

28日（日）13時

会場：新神戸オリエンタル劇場

料金：前売6500円、
当日7000円

★第8回日本写真作家協会・神戸展

東京に本拠地を置く日本写真作家協会（JPA）が、神戸の復興と活性化に一役買おうと、ハーバーランドにある神戸阪急ミュージアムで写真展を開催する。



PHOTO M.SUYAMA

神戸展は東京の川崎展に続くもので、協会200余名の会員が400点にも及ぶ作品を展示する。風景、人物、静物はもちろん、創作、記録、報道と多種多様な表現に作家の個性が溢れている。

期間：12月10日（水）〜15日（月）
場所：神戸阪急ミュージアム（神戸阪急6F）
11時〜19時30分（最終日18時）

★ひょうごインビテーションナルジュニアオーケストラ公演

兵庫県では、青少年の国際感覚と豊かな感性を育てるために、毎年、世界の優れた青少年の芸術団体を招聘する「ひょうごインビテーションナル」事業を実施している。

今年、来日するのは、韓国のソウル・芸苑ジュニア・オーケストラ。芸苑学校は、韓国の音楽界の中心人物を多く輩出する、芸術専門の名門私立中学校だ。最上級生から厳選されたメンバーを率いるのは、かつて朝比奈隆氏に師事し、日本でもN響などを指揮した経験を持つ林元植氏。

クラシックの名曲に加え、クリスマス・キャロルの演奏も予定している。「聴いてもあれば必ず喜んでもらえる」という自信の音色をその耳で。



ジュニア・オーケストラ来日メンバー

□神戸公演

日程：12月17日（水）18時30分

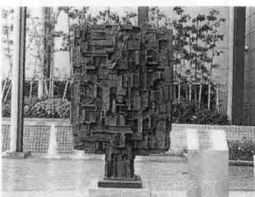
場所：神戸文化ホール

料金：大人2000円、大学生以下1500円 当日指定

★神戸にパリの風

被災地激励の彫刻お目見え

「阪神・淡路震災復興支援10年委員会」代表を務める建築家の安藤忠雄さんが、フランスの彫刻家・セザール氏に依頼していた彫刻が10月24日、三宮の「フェニックスプラザ」前で除幕された。作品は、エッフェル塔の大改修で廃材と



「エッフェル塔一板状」
高さ約2.8mの作品

なった鉄骨を利用し、プロダクトで再現したもの。この日、彫刻の所有権は10年委員会から兵庫県に移された。

同品を選んだ理由として、安藤氏は「復興はどうしても開発優先になりがち。後回しにされる自然や芸術、人の心を残したかった」と話す。新たな「エッフェル塔」がパリにかわって神戸を見つめつつける。

★自衛隊・神戸ときめきコンサート

自衛隊兵庫地方連絡部創立41周年記念行事の一貫として、兵庫県防衛協会主催による「第1回神戸ときめきコンサート」を開催する。

日時：11月29日（土）13時〜14時45分

場所：朝日ホール4階

演奏者：陸上自衛隊第3音楽隊

*入場無料。但し、入場整理券を募集事務所又は自衛隊広報室（TEL078・331・9896）まで取りに行くこと。

プレゼント

●明石海峡大橋の開通が待たれる徳島のプチリゾートホテル・モアナコーストから、抽選で親子(母娘)ベ



モアナコースト メゾネットルーム

ア1組に「母娘仲良しプラ
ン」宿泊券をプレゼント。

〒772 徳島県鳴門市鳴門
町土佐泊浦字高砂186・

16 プチリゾートホテル・モアナコースト 担当・織田、高石、米津まで

●タケカワユキヒデ・アコースティックコンサート「神月」オリジナルテレカを5名様に。〒542 大阪府中央区島之内1・15・1(株)

平岡企画 担当・富士まで
●ソウル・芸苑ジュニア・オーケストラ神戸公演のチケットをベア10組20名様に。〒650 神戸市中央区海岸

通6番地建隆ビルII 8F
(財)兵庫現代芸術劇場舞台芸術課 担当・古川まで

●メルシャン(株)から、アルゼンチンのトラピチエ社特製600mlワインを5名様に。住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、〒1

50・88 渋谷郵便局内メルシャン「トラピチエ・ミレニアム」プレゼント係まで

●日本経済新聞社から働く女性の意見を参考に作成された98年版レディースタイル「Vet」を20名様に。月刊神戸っ子・川崎まで

花時計



「モミの木」に心の灯を

去年のルミナリエの視察を兼ねて、「阪神・淡路百名所づくり」の提案者である堺屋太一先生がトア・ロードの視察と調査に来られた。

堺屋太一さん一行はトア・ロードの外国倶楽部からスタートされた。その時、窓越し

に見える「モミの木」を指さされて、「先ず、あの「モミの木」をクリスマス・ツリーとして電飾することだね」と言われた。また、トア・ロード

の坂道を歩きながら、「この坂道に水が流れるような仕掛けが欲しいね」といわれた。それもこれも素晴らしいアイデアだ。流石に「阪神・淡路百名所づくり」の発想者だ。

神戸の震災復興に当たって、文化的なセンス溢れる、地道なプロジェクトこそ望ましい。というこ

で、「神戸外国倶楽部」の庭園内にそびえる

「モミの木」に「心の灯」を点けて、クリスマスから新年にかけて電飾しようということになった。

点灯するためには、約五千灯が必要だ。この灯は出来るだけ多くの人に賛同して貰って一灯、千円の寄付によって、このプロジェクトを起ち上げようという。

いわば、市民の心の灯を集め、神戸のシンボルにしようという運動が展開される。時に神戸の街はルミナリエの光が溢れている。小泉康夫

KOBE POST

★国立民族学博物館は昭和52年11月に開館。11月12日に開館20周年を記念して記念式典・祝賀会が国立民族学博物館(石毛直道館長)で催されました。

★12月12日(金)13時30分~17時パレス神戸2階大会議室において、新均等法下の「人財」活用プログラムが「女性の積極的登壇で力ある企業に」をテーマに開催されます。主催は兵庫県経営者協会/同協会女性産業人懇話会(V AL21)兵庫女性少年室。(財)21世紀職業財団兵庫事務所/基調講演・成城大学教授奥山山良氏、パネルディスカッション・三輪昌子、東田康、羽賀弘一、長尾俊昭、山本梢子各氏/無料/お申し込みTEL078・321・0051

兵庫県経営者協会企画部
★画家・元永定正さんの叙勲を祝う会が12月2日(火)18時30分より、ホテルプラザ2階禮堂の間で開催されます。会費10万5千円事務局/番函TEL06・362・7057

★神戸華僑総会会長の林同春さんが日中国交正常化25周年を記念して「橋渡る人」を出版されました。11月28日(金)18時より、神仙閣で出版記念会が催されます。会費1万円

★「1・17市民通信」社が「1・17市民通信ブックレット」を創刊。第1号「神戸、その光と影」港と都市の生い立ちに見る栄光と暗黒」の著者は元神戸新聞記者で小説神戸っ子にも在籍していた大谷成章さん。第1号は定価520円。問い合わせ/同市民通信TEL078・222・6245

★自称「釣りバカ」の柳太平(本名・惠蔵)さんが新風書房から「遊々波平 釣り日誌」を出されました。本書は「釣場速報」(関西版)の「波平さんの遊YOU日誌」コーナーの抜粋版。定価1700円十税

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインズトアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL.078-331-2246

K.F.S. NEWS 182

9月マンスリー講演 『痔のおはなし』

講師：花岡道治氏（花岡クリニック院長）



講師の花岡院長

●スベアのお尻はない

恥ずかしさから、医者に行かず、薬局で買った座薬や塗り薬などでごまかして、病気が悪化することの多い“痔”。

自分で見えにくい場所なので、どれほど悪いかわかりにくい、内痔核の初期などのように出血だけで痛みが全くないので放置していることなども悪化を進行させる原因の一つと考えられます。

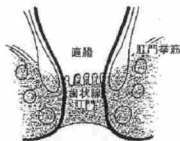
しかし、たかが“痔”とあなどるなかれ。最近、肛門疾患からんで、大腸ガン、大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎などのさまざまな病気が著明に増加。お尻はたった一つしかない、大切なところ。症状があらわれれば、即！専門医に診察を受けましょう。

●肛門の奥は痛くない

痔とはとにかく痛い、というのが世間の相場ですが、実は痛みを感じる神経は、歯状線の下だけ。“いぼ痔（痔核）”は、静脈瘤

とって、肛門の静脈がたるんではれたもので、その表面が皮膚でおおわれているのが外痔核、粘膜でおおわれているのが内痔核。皮膚は痛みを感じますが、粘膜は痛みを感じないので、内痔核はいくら出血しても普通痛みを感じません。大便をする時、大変痛くて、二、三滴程度の出血をするのは“きれ痔”。固い便が肛門を通過して、歯状線の下が皮膚が裂けてできたものですから、痛みを感じるわけです。内痔核やきれ痔の時に出る血は真っ赤できれいな血です。

しかし粘液と混じったり、ドロドロとしたきたない血が出る時は、直腸癌の心配があります。痛みのあるなしにかかわらず、外科医にみせた方がよいと思われれます。



■痛みを感じる所
□痛みを感じない所

●痔にならないために

なんといっても快食、快眠、水分、快便。この四つに要約されます。便秘にならないように、食事に気をつける。とはいえ、忙しいサラリーマンやOLは、外食中心でその内容まで気が配れないもの。そこで便秘ぎ



みの人には、一分間排便法をおすすめします。理想的な排便とは、一日一回、軽いきんで短時間に終了する排便のこと。出るとしてしゃがんだ30秒以内には全体の80%が出るので、上手にやれば1分以内ですませるのです。出やすい便にするためには、何でもよく食べ、水分を十分にとることも大切。排便を我慢したり、そのうち出るだろうと長時間トイレにこもるなどという生活はよくありません。

とにかく、“痔”が永遠の悩みとならぬよう、なってしまったら、専門の医者に診てもらい早くなおす。シリ合いのKFSの皆様なら、花岡クリニックでよければ、お気軽に相談ください。

●12月マンスリー

『定例X'masパーティ』

場所：神戸風月堂88（ポートライナー
中埠頭駅前）

日時：12月13日（土）受付18：00
スタート18：30～

料金：メンバー¥10,000
ゲスト ¥12,000

フラメンコの華麗な舞とともにきらびやかなクリスマスナイトを過ごしましょう。

■神戸の工房をめぐる 〈その3〉

中国服(チャイナドレス)と帽子(ハット)の職人たち

福元早夫

〈作家〉

撮影／森田篤志



母親のうしろ姿が今の李さんの道を決めた

良友(リヤンユウ)

「一度お会いしましたら、良い友達になりましたよ、という意味なんですよ」

笑顔が健康的な李瀛さんは、中国服オーダー専門店『良友』の由来を説明してから、工房内を案内してくれた。店は中央区下山手通三丁目のトアロードにあって、シヨウウインドウのチャイナドレスが目につく。道行く人いかにも神戸らしいといった雰囲気を楽しませてくれる。

「戦後に母が、中国服の手づくりの店をはじめたんです。

ですから、母の仕事場で育ちました」

チャイナドレスは気品があって美しい。パーティなどでよく目だつ。だが普段着もつくっていて、外出着として気軽に使って欲しいという。この仕事についたのは、二十歳の時からである。

「母の後ろ姿を見ていて、この道に決めました。母親であると同時に、彼女はすぐれた教師でした」

店は大きくせず、弟子はとらずに自分の守備範囲でやっている。一着つくるのに三カ月くらいかかるそうである。

「型紙なしで作りますから、自分の感覚が勝負です。お客様の輪かくや全体のイメージをすつかり頭に入れておくのです」

チャイナドレスは基本的なデザインが一定しているから、あとは自分のイメージで相手のスタイルに合わせる。シックな感じで着る人の個性を引き出すように、意外性を生み出すように心がけている。だから、試着で相手が気に入ってもこちらが気に入らなければ、ほどこいてやり直す。



チャイナドレスと良い友をつくる店

お気に入りのメイドレスで。
上品で飽きのこない一着



中国服の着やすさ
を見直して欲しい



イメージを追うあまり自分を忘れることも多い



客のイメージが生地を追っていく



職人氣質は伝統的で本物

職人氣質は本物である。客層が若者から高齢者まで、ぐつと幅広いわけがうなづける。

中国の服装の歴史はその時代の変化に支配されてきた。映画「ラスト・エンペラー」が表現してきたように「清」の時代は、満州出身の王朝だったので北方的な筒そでの丸えりである。かれらは漢民族の結髪を禁じて満州風俗の弁髪にさせ、服装も満州人風にあらためさせて、これとちがった者は反逆心があるとして死刑にしたほどである。これが近世二〇〇年間の中国の服装となったのである。

民国革命後は男子は洋服にかわって、中国服は便衣、つまり普段着になった。女子は上衣と裙(くん)と呼ぶスカート風の服装が一般的になった。だが、満州服もまた、曲線の美しさがあるので、これを旗袍(チーパオ)、満州旗人の服といって長く愛好されてきたのである。

「デザインが変わりませんから、着る人のスタイルが変わらなかつたら、永く着られてけつきよく洋服より安くつきます。体形も管理できて、一生物ですよ」と李さんはよく似合う笑顔を絶やさない。生地は香港でフランス製を仕入れてくるのだそうである。

チャイナ服の特性は生地がやわらかくて、着やすいことである。外出着としての気がるさは抜群だという。着たときの緊張感が背筋がしゃんと伸びて、何歳も若がえった気持ちになれる。健康的である。だから男性の目に、セクシーで個性の豊かな、理知的な女性に映るのかもしれない。「この仕事のよこごびは、先ず人との出会い。それから服がイメージどおり出来あがって、よるこんでもらえた時です。パーティなどでチャイナドレスの美しさを評価されたときは嬉しいですね」

客は日本の女性が多い。若い女性たちの間でいまチャイナカラーが流行して、とてもいいことだ、と笑顔をうかべながら、

「オーダーだからすこし値がはりますが、夢は若い女性たちが、楽に手にはいるような研究をしていきたいです」と、芯の強そうな顔に意欲をのぞかせた。



工房内はわが家以上、と渡邊さん。愛らしくてたまらない。資料館をつくるのが夢



自分たちの仕事が形になって残るから楽しい



東京から九州まで百貨店中心に売られている

maxim (マキシン)

JR元町駅から三宮へむかつてすぐ、トアロードにでる。そこをさかのぼっていくと七階建てのビルの一階に、「マキシン」の帽子が華やかに並んでいて、道行く女性が目をとめ、足を止めて息をのんでいた。店内はゆつたりとして、マキシンの帽子でおしゃれをしたい気分させる。どれも見事なできばえで、芸術作品のような婦人帽があわい輝きはなっていた。

「アトラクタオリンピックの日本選手団五〇〇名の帽子はここで生まれました」といって、渡邊百合さんが工房内を案内してくれたのは、まず四階の素材庫からだった。ヨーロッパから輸入された材料が、袋づめにされてぎっしりつまっていた。工房内は軽音楽がながれていた。マキシンの帽子はすべて手づくりで、職人たちは誰も自分の手に神経を集中させていた。目で見える／頭で見る／耳で聞く／頭で聞く／別のものが見える／別のことが聞こえる、と詩が目についた。

山口巖さんはこの道ひと筋の、帽子作りの名人である。温厚な人がらと渋い風格は、職人というより芸術家だつた。「マキシン神戸へ入社したのは昭和二十八年で朝鮮戦争の不景気な時代でした。手仕事が好きで、絵やデザインに興味をもっていましたし、色彩感覚は敏感な方でした」

チーフデザイナーだが現役で他の職人たちと腕をみがき合っている。

「製造工程は昔も今も変わりませんが、道具や整備が改善されて能率的になりました。修業時代は先輩が四、五人いましたから親切に教えられました。帽子は洋服と共に発展してきてますね」

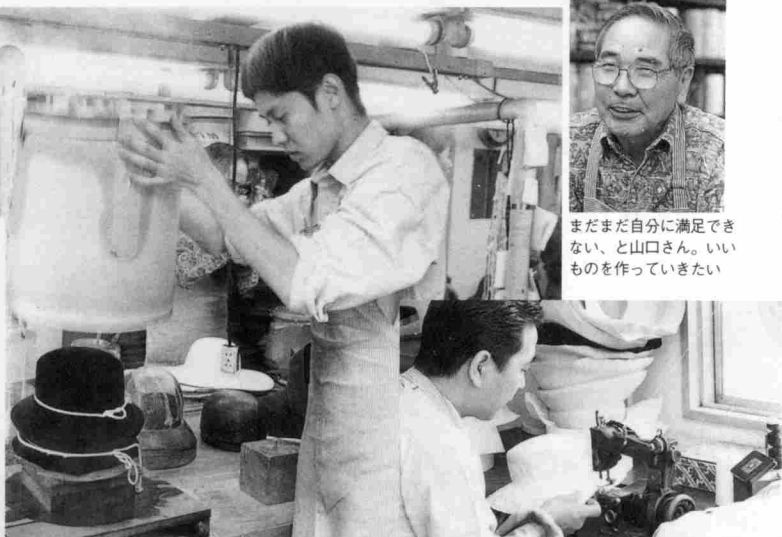
やわらかい口調だが実感的なひびきがある。帽子の種類や数量は、人間の数だけあるという。ミラノコレクションをはじめ、パリ、ニューヨーク、ロンドンなどのショーが参考になるらしい。映画からもヒントを得る。オードリー・ヘップバーンがそうだったが、洋画に帽子はつきものだった。

「欧米では型によって呼び方が違いますが、わが国ではつ



思わず足をとめて息をのむマキシン神戸店

体力、気力を充実させて職人の全精神が投入される



まだまだ自分に満足できない、山口さん。いいものを作っていきたい

一つの帽子の全工程は一人の職人の手で。
自分の子供を生み出すみたい

自分を表現できるのでやりがいがある。底が深く、満足してられない

ばのあるハット、つばのないキャップ、ボンネット、フードのことをひっくり返して帽子といっています。おしゃれにこだわるなら爪先から頭まで、帽子は個性をひき出す最大のポイントですよ」

帽子の起源は古代エジプト・ギリシャ時代からで、はじめは装飾的なものではなく、生活の必要性から使われていた。ほかに階級の象徴としての意味もあった。その後、文化の発展にもなつて服装の変遷とともに型がはげしく変わり、流行をくり返してきた。

「帽子はファッション界の流れにのつた社会を反映する鏡ですね。街で帽子を見かけるとひと目でマキシンだとわかり、うれしくてほっとしますね。装いのしめくりが帽子であつて、自分を表現するための究極の決め手ですよ。帽子づくりは万人に似合うベレーではじまつて、終りもベレーです。オーダーを受けてお客さんの手に渡つて、手紙で喜んでもらえたときなど、なんともいえない嬉しさですね」
軽音楽のリズムで工房内は明るい雰囲気があった。最終工程は若い女性が多く習いごとの教室のように、手づくりのノートを広げて目を光らせ、仕事を楽しんでた。「気に入らない出来のものがいあまだにあつてそのつど勉強せんとあかんと思つています。情報をあつめて新しい流れに対応できるように、感覚をみがきつづけています」

山口さんの姿勢は前向きで、それがマキシンの伝統だと感じさせた。婦人帽には十三種の基本的な型があつて、選び方をきくと、

「帽子の材料や形には季節と流行がありますが、とらわれずに自分の好み、顔の形や個性、服装にあわせ、使うときの場所などを考えて選ぶべきです。ホコリや手あかなどは、地質をいためて変色のもとなので、帰宅後は必ずブラシをかけて材質に合った手入れをして欲しいですね」と手放した帽子の行方を案じるようなやさしい表情をみせてから、きっぱりといった。

「日本の帽子はヨーロッパ全体の帽子の特性を取り入れていますが、ヨーロッパ各国は独自のです。目標は世界一の高級品をつくつているフランスを超えることです」

短篇小説

アシナガバチ

木村光理

「うちには種類はないよ。濃いコーヒーか薄いコーヒーかどっちかだよ」樽のように太った中年女が建雄を値踏みするように見た。

「コーヒーならなんでもいいよ。それと、旨い水！」

建雄はカウンターの後ろの汚れが染みのように浮き出た灰色の壁を見つめながら言った。そこには、彼の好みの女優の若い頃のヌードポスターが貼ってあった。

「あんた、どこから来たの？ 見かけない顔だね」

女は、生ぬるい水の入った縁の欠けたコップを、カウンターに音をたてて置くと、建雄の顔を珍しい生き物でも観察するようにじっと見つめた。

建雄は黙って窓の外を指さした。

そこには、黒く濃んだ海がどんよりと横たわっていた。

「ふーん、そう、海の向こうの街から」

女は手で膏薬を貼った自分の首筋を揉みながら言った。

何か読むものを探そうとして、建雄はカウンターの周りに目をやった。そこには一年ほど前の黒ずんだコミック雑誌と、不動産会社の色褪せたカラー・カタログが山積みになっていた。長さ十メートルほどの小さな細長いカウンターにも、カウンターの背後に並べられた二つの丸テーブルにも、建雄の他に客の姿はなかつ

た。

彼は細菌の巣のように汚れたコミック雑誌を一冊手にとってはらばらとめくった。ページの間には、ほとんどミイラ化したパンや野菜のかけらが詰まっていた。

有線放送のスピーカーからは、古いジャズが小さくゆつたりと流れていた。

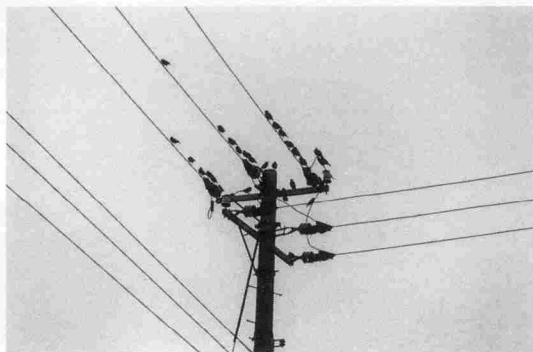
出がらしのコーヒーを半分ほど飲むと、建雄は目を瞑り流れるジャズに耳を傾けた。静かな、ピアノソロだった。建雄はそのまま眠りこんでしまいそうになった。

その時、ピアノとは異なった物音がふいにやってきた。

なんとということだ。こんなところに来てまであの音を耳にするなんて。たぶんあの半分開いたフランス窓から侵入したのだろう。さつきまで弛緩していた建雄の神経と筋肉は、今や強く強ばっていた。

建雄の目に、一匹のアシナガバチが、天井近くを8の字を描いて飛行しているのが映っていた。

一八センチ、九十キロと、アジア人には稀ながつりとした体躯の持ち主の建雄だが、昆虫は大の苦手だった。昆虫を目にすると、頭の中にその拡大された頭部が自動的に大写しになり、無数の目の集まった複眼やどう猛な顎が、彼を恐怖の虜に



した。もし、昆虫が今の百倍の大き
さだったなら、人類は間違いなく滅
ぼされていただろう、以前観たB級
映画の主人公のそんなコメントを、
建雄は本気で信じていた。昆虫の中
でも、蜂は建雄の最も嫌いな昆虫だ
った。

アシナガバチを見た瞬間から、心
臓や局部が小さく縮こまるのが建雄
にはわかった。彼の顔は緊張で青白
くなり、脂汗が額に浮き上がった。
しかし、そのことを目の前の太った
女には知られなくなかった。

弱虫と言われたくなかったのだ。
それはボディビル愛好家の彼にとつ
てタブーの言葉だった。

彼は大きく息をし、気を静めるた
めにカウンターの上の生ぬるい水を
口に含んだ。その水はポウフラがわ
きそうなほど汚れ濁っていた。彼が
その水を飲むのを、女はカウンター
の中から不思議そうに眺めていた。
「この街の人間は手や足は洗つても、
水は飲まないよ」

薄ら笑いを浮かべ、馬鹿にしたよ
うに女は言った。しかし、女の言葉
は最早彼の耳に入らなかつた。彼の
全神経は、今やアシナガバチに集中
していた。蜂は少しずつ飛行高度を
低くし、彼の頭のすぐ上を楕円軌道
を描いて旋回し始めていた。彼は落
ち着け、落ち着け、と自分に言い聞
かせた。その一方で、今朝頭に整髪

料をねっとりどこねるように塗りた
くつたことを悔やんだ。何日も髪
の毛を洗っていないことをごまかすた
めに、いつもよりたくさん塗りたく
つたのだ。

きつと、整髪料の甘酸っぱい匂
いのせいで、蜂が寄ってくるのだらう。

「どうしてこの街に来たの？」

女は欠伸を手で隠しながら尋ねた。

彼は答えなかった。それどころで
はなかつたのだ。

「この街には面白いことなんて何も
ないわよ。だからこの街の人間は、
暇つぶしに喧嘩ばかりしてるの。こ
こに長くいると、あんたもきつとそ
うなるわよ。あんた喧嘩は得意な
の？」

アシナガバチは今やちようど彼の
目の高さのところを飛んでいた。時
折、建雄の目が蜂の目とあつた。

「ちよつとあんた聞いているの！」

女は建雄を睨みつけた。女にも蜂
が見えているはずなのに、まるでそ
んな素振りなど見せないのが、建雄
には不思議だった。蜂が近づくとび
に、耳のそばで高圧線を流れる電流
のような音が聞こえた。できるだけ
蜂との距離をとりうとして、建雄は
蜂の動きに合わせて、頭を屈めたり、
左右に素早く振った。

「謝らなくていいのよ」

女は建雄の動きを自分への謝罪だ
と誤解して、小さく笑った。



蜂は建雄の顔の前を飛びながら、時折、薄くなりかけた頭髮にとまるような様子を見せ始めた。蜂から逃れるために、建雄の首振り運動は、ますます激しくなった。

「何のつもりなの？」

女は今度は憤慨するように言った。

「どうしてそんなにせわしなく頭を動かすのよ。鬱陶しくてしかたないじゃないの。癖なの？ それともなんかの病気？ 病気ならしかたないけど……わざとしてるのなら、すぐに出てってもらわよ。コーヒー一杯でそんなふざけた態度をとられちゃかなわないもの」

「危ない！」

建雄は小さく叫ぶと頭を素早くひっこめた。

「何が危ないのよ？ あんた、いったいどういうつもりなの。あたしと話をしないなんて……そんな客はこの街には一人もないわよ」

「危ない！」

建雄は今度は椅子に座ったまま後ろに反り返った。

「ちよつと、あんた！ いい加減にしないと、警察を呼ぶわよ。そんな、人を馬鹿にしたような態度をとるなんて失礼じゃないの！」

しかし、女の言葉は、蜂の急接近でパニック状態に陥った建雄の耳には、まったく入らなかつた。そもそも女の存在そのものが建雄の念頭か

ら消えていた。彼は頭を左右に激しく振り、首をぐるぐる回した。しかし、それでも、蜂は建雄のそばを離れようとはせず、とうとう建雄の後頭部に着地した。

その瞬間、「ウォー！」と建雄は絶叫した。

彼は右の手で自分の後頭部を強く払った。その手が微かに蜂の体に触れ、勢いで蜂は空中に弾き飛んだ。しかし、空中ですぐに体制を立て直すと、蜂は今度は建雄の顔面目がけて突進した。

「ワアー！」と叫ぶと、建雄は慌てて頭を伏せた。ゴーンと音をたてて額がカウンターにぶつかり、空のカップが跳ね上がった。おかげで、蜂の攻撃を避けることには成功したが、額が裂け、血が流れ落ちた。彼は、血を拭こうとしてズボンのポケットからハンカチを取り出した。その隙を捕らえるように、蜂はさつきとは違った方向から、建雄目がけて突進した。彼はまた頭をカウンターにぶつけた。彼は、そんな動作を全部で六回繰り返した。

七回目には必要ではなかつた。蜂の攻撃も蜂の羽音も突然消えてなくなつてしまつたのだ。蜂の姿は店の中から完全に消えていた。建雄は思いきり深呼吸した。それから、顔面を覆う血をハンカチで拭い、上着の内ポケットから取り出した櫛で乱れた



頭髮を整えた。

カウンターの女はアツケに取られない様子でそんな建雄を見ていた。

「いったいどうしたのよ？」

震える声で女は尋ねた。その声には脅えが少し混じっていた。

なんて鈍感な女なんだろう。そんなに大きなアシナガバチが飛んでいったのに。羽音だって物凄かったのに。しかし、そのことを告げるべきかどうか建雄は迷った。蜂の存在などまったく認めていない女の口ぶりが、建雄には気になった。今までも、何度かそんなことがあったのだ。彼が大騒ぎしているのに、誰もが冷静なままだつてことが。建雄の周りを飛来する大きな蜂の存在を誰もが認めなかったことが。

今度もそうかもしれない。かといつて、このままうやむやにするのは……

彼は決心した。

「さっきのあのアシナガバチはどこへいってしまつたんだろう」

建雄は女に聞こえるように大声で言った。

「蜂？ そんなものいやしないよ」

女は訝るような非難するような口調で言った。建雄はこの答えをある程度予想していた。またか、とも思つた。職場の同僚や昔からの知り合いいも、時折こんな風に言うのだ。しかし、こんな寂れた町のカフェで初

めて会つた女から言われたことに、建雄は少なからずショックを受けた。やはり女房の言つたことは本当なのだろうか。

「蜂はあなたの頭の中にいるのよ」

「そうだよ。蜂なんていやしないんだ。どこにもいやしないんだ。わかつてるよ、しっかりと。ああ、しっかりとわかかつてるよ」

建雄はわざと笑顔を作つて女に言った。

「ほんと、これ以上からかうのはやめてよね。あたし、心臓に持病を持つてるんだから。ニトログリセリンをいつだって持ち歩いているし……ほんとにびびくりしたんだから。急に叫んだり、カウンターに頭をぶついたり、おまけに血まで流すんだから。……そりゃあ、生きていくのはいろいろ大変だと思ふけど……まあ、これ飲んで気分転換すれば」

女は、建雄の前に湯気の立つコーヒーを差し出した。

「ありがとう」

建雄は二杯目のコーヒーをゆつくりと口元に持つていった。

次の瞬間、彼はカップを握りしめたまま凍りついた。

黒い液体の中から無数の目が建雄をじつと睨みつけていた。